

令和6年度 第8回柿崎区地域協議会 次第

日 時：令和6年12月17日（火） 午後6時30分
場 所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 諮問事項

(1) 柿崎区における公立4保育園の統合及び移転整備について（諮問）

・・・・・・・・ 写し 別紙 参考資料1 参考資料2

5 自主的な審議

(1) まちづくりフォーラムの内容について

・・・・・・・・ 資料1

(2) 柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について

・・・・・・・・ 資料2 資料3

6 報告事項

(1) 日帰り・宿泊温浴施設の無償譲渡・無償貸付に係る公募型プロポーザルの実施結果について

・・・・・・・・ 写し

7 その他

(1) 会議の開催日程について

① 第3回ネットワーク柿崎

日 時：令和6年12月17日（火） 地域協議会本会議終了後
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305 会議室

② 第9回柿崎区地域協議会

日 時：令和7年1月21日（火） 午後6時30分
会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

③ 第6回柿崎区地域協議会だより編集委員会

日 時：令和7年1月21日（火） 地域協議会本会議終了後
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305 会議室

④ 第3回まちづくりフォーラム実行委員会

日 時：令和7年1月21日（火） 地域協議会本会議終了後
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 306 会議室

8 閉 会



上 幼 第 1 4 9 1 5 号
令和 6 年 1 2 月 1 6 日

柿崎区地域協議会
会 長 吉 井 一 寛 様

上越市長 中 川 幹 太
(こども・子育て部 幼児保育課)

柿崎区における公立 4 保育園の統合及び移転整備について (諮問)

下記の事項について、上越市域自治区の設置に関する条例第 7 条第 2 項の規定により意見を求めます。

記

諮問第 8 5 号 柿崎区における公立 4 保育園の統合及び移転整備について
※ 諮問内容については、別紙のとおり

[諮問理由]

令和 5 年 3 月に貴地域協議会から市へ提出された「柿崎区内の保育園の今後のあり方に関する意見書」の趣旨等を踏まえ、「上越市保育園の適正配置等に係る計画(第 4 期)」に基づき、児童の適正な集団生活の場の確保と良好な保育環境の提供の実現を図るため、柿崎区内の公立 4 保育園(柿崎第一、柿崎第二、上下浜、下黒川)を統合し、直海浜地内の柿崎体育館跡地に新たな保育園を移転整備することに関し、柿崎区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの。

諮 問 内 容

現況	諮問内容																					
<p>1 既存保育所の名称及び位置等</p> <table border="1" data-bbox="250 389 1072 679"><thead><tr><th>名称</th><th>位置</th><th>定員</th></tr></thead><tbody><tr><td>柿崎第一保育園</td><td>上越市柿崎区柿崎 5866-1</td><td>100 人</td></tr><tr><td>柿崎第二保育園</td><td>上越市柿崎区柿崎 7051-1</td><td>80 人</td></tr><tr><td>上下浜保育園</td><td>上越市柿崎区上下浜 446</td><td>30 人</td></tr><tr><td>下黒川保育園</td><td>上越市柿崎区下小野 1509</td><td>50 人</td></tr></tbody></table>	名称	位置	定員	柿崎第一保育園	上越市柿崎区柿崎 5866-1	100 人	柿崎第二保育園	上越市柿崎区柿崎 7051-1	80 人	上下浜保育園	上越市柿崎区上下浜 446	30 人	下黒川保育園	上越市柿崎区下小野 1509	50 人	<p>1 移転整備後における保育所の名称及び位置等</p> <table border="1" data-bbox="1200 389 2018 533"><thead><tr><th>名称</th><th>位置</th><th>定員</th></tr></thead><tbody><tr><td>(仮称) 柿崎区新保育園</td><td>上越市柿崎区直海浜 1155 (柿崎体育館跡地)</td><td>未定</td></tr></tbody></table>	名称	位置	定員	(仮称) 柿崎区新保育園	上越市柿崎区直海浜 1155 (柿崎体育館跡地)	未定
名称	位置	定員																				
柿崎第一保育園	上越市柿崎区柿崎 5866-1	100 人																				
柿崎第二保育園	上越市柿崎区柿崎 7051-1	80 人																				
上下浜保育園	上越市柿崎区上下浜 446	30 人																				
下黒川保育園	上越市柿崎区下小野 1509	50 人																				
名称	位置	定員																				
(仮称) 柿崎区新保育園	上越市柿崎区直海浜 1155 (柿崎体育館跡地)	未定																				

既存保育所の概要

名 称	柿崎第一保育園	柿崎第二保育園	上下浜保育園	下黒川保育園
受入年齢	3 か月～	3 か月～	1 歳～	3 か月～
開園時間	平 日：7 時 30 分～19 時 00 分 土曜日：7 時 30 分～17 時 00 分	平 日：7 時 30 分～19 時 00 分 土曜日：7 時 30 分～17 時 00 分	平 日：7 時 30 分～18 時 30 分 土曜日：8 時 00 分～12 時 00 分	平 日：7 時 30 分～18 時 30 分 土曜日：8 時 00 分～12 時 00 分
特別保育	延長保育、障がい児保育、 一時預かり、地域活動事業、 子育てひろば	延長保育、障がい児保育、 地域活動事業	延長保育、障がい児保育、 地域活動事業	延長保育、障がい児保育、 地域活動事業
休 園 日	日曜日、祝日、 12 月 29 日～翌年 1 月 3 日	日曜日、祝日、 12 月 29 日～翌年 1 月 3 日	日曜日、祝日、 12 月 29 日～翌年 1 月 3 日	日曜日、祝日、 12 月 29 日～翌年 1 月 3 日
通園バス	○	○	○	○
定 員	100 人	80 人	30 人	50 人
児 童 数 (R6 年 4 月現在)	73 人	51 人	14 人	15 人
職 員 数 (R6 年 4 月現在)	26 名 (会計年度任用職員含む)	18 名 (会計年度任用職員含む)	11 名 (会計年度任用職員含む)	11 名 (会計年度任用職員含む)
建築年月	昭和 58 年 2 月	昭和 60 年 12 月	昭和 49 年 3 月	昭和 58 年 12 月
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建て	木造平屋建て	木造平屋建て	木造平屋建て
延床面積	1,392.00 m ²	989.57 m ²	752.14 m ²	698.91 m ²
敷地面積	3,199.21 m ²	3,099.63 m ²	4,804.00 m ²	2,590.65 m ²

柿崎第一・柿崎第二・上下浜・下黒川保育園及び（仮称）柿崎区新保育園の位置図

参考資料2



第 2 回まちづくりフォーラム実行委員会 協議結果

1 フォーラムの内容

- (1) 柿崎区地域協議会の活動報告（各説明 10 分＋質疑 5 分）
 - ・米山薬師を守る会 : 中村 誠 副会長
 - ・スポ×まちプロジェクト : 佐藤昌貴 委員長
 - ・ネットワーク柿崎 : 佐藤達弥 委員長
- (2) 地域独自の予算事業の概要説明（説明・質疑で 10 分）
 - ・既存のチラシを配付し事務局が説明する。
- (3) 事業報告
 - ① 上越地区産業廃棄物最終処分場整備の概要について：県環境保全事業団
(説明 20 分＋質疑 10 分)
 - ② かきざき空き家利活用協議会の取組状況について：協議会
(説明 10 分＋質疑 5 分)

2 周知方法

- (1) チラシの作成・配布
 - ・チラシは金子委員が作成する。
 - ・12 月中に完成させ、1 月 25 日の町内会連絡便で全世帯回覧
 - ・配布先は次回実行委員会で検討する。
- (2) 地域協議会だより第 55 号（12 月 25 日発行）による周知
 - ・開催日時及び会場、内容を掲載
- (3) 防災行政無線による周知
 - ・開催日の 1 週間前、前日、前々日に放送
- (4) 情報提供
 - ・開催日の前週に各マスコミへ情報提供
- (5) 関係団体等へ案内文書等を送付
 - ・令和 3 年度、令和 4 年度地域活動支援事業採択団体、令和 5 年度、令和 6 年度地域独自の予算事業申請団体へ案内文書、チラシを郵送する。
 - ・その他の団体は次回実行委員会で検討する。

3 資料の作成

- ・地域協議会の活動や報告内容等を 1 冊にまとめた資料を作成し、フォーラム当日に配付する。
 - ① 各委員会の活動日誌 : 事務局作成
 - ② 各委員会の報告用資料 : 各委員会で作成（プロジェクター用）
 - ③ 地域独自の予算事業 : 既存のチラシを利用

4 役割分担

- ・フォーラム当日の受付、司会進行、会場整理等の役割分担は、次回実行委員会で検討する。

5 第3回実行委員会開催日程

- ・日時：令和7年1月21日（火）地域協議会終了後
- ・会場：柿崎コミュニティプラザ 3階 306会議室
- ・内容：日程の詳細確認、役割分担、資料の作成状況、会場の配置、準備する物品、チラシの確認等

第 2 回米山薬師を守る会 会議記録

日 時	令和 6 年 11 月 25 日 (月) 18:30~20:10	出席者	中村副会長、小出委員、小山委員、 佐藤まゆみ委員、滝澤委員、吉井会長
場 所	柿崎コミュニティプラザ 3 階 市民活動室		
記録者	小出委員	欠席者	—
標 題	柿崎山岳会会長と懇談		
<p>1 開催日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年 11 月 25 日 (月) 午後 6 時 30 分~8 時 10 分 <p>2 開催場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柿崎コミュニティプラザ 3 階 市民活動室 <p>3 懇談会開催の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柿崎山岳会解散後の課題を整理するため。 <p>4 懇談の主な内容</p> <p>(1) 山岳会の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の会員数は 20 名。最高齢は 81 歳、最年少 61 歳 ・柿崎山岳会は、会則にもあるが米山を守ることを目的としている。以前は募集登山を実施していたが、会員の高齢化に伴い体力的に参加者を取りまとめることができなくなり、現在は募集登山を行っていない。 ・新規会員の募集もままならず、4 年前に解散の声が出て、令和 8 年 3 月に解散することを決めた。 ・解散後、山岳会が担ってきたことがどうなるのかを心配している。 <p>(2) 作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 月初旬 : 登山道の整備 (倒木処理、看板設置、鎖付け) → 15 人程参加 ・5 月連休明け : トイレの組立 → 建設業者が業務を請け負い、山岳会は協力。行政、柏崎山岳会含めて 20 人程が参加し、避難小屋からの材料運搬を主に 行っている。 ・5 月 : 米山山開きの手伝い ・6 月中旬~7 月 : 登山道等の草刈り ・11 月上旬 : トイレの解体 → 建設業者が業務を請け負い、山岳会が協力 ・米山山頂避難小屋及びトイレの清掃等の管理 → 柏崎山岳会と交代で実施。しかし、トイレはバイオトイレのため、バクテリアの補充等は会員が登頂した際に行っている。 <p>(3) 財源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米山登山道管理業務委託料 (登山道 4 コース) 356 千円 → 上越市発注 ・米山山頂避難小屋等管理業務委託料 127 千円 → 米山山頂避難小屋連絡協議会発注 			

(4) 新たな登山道等の維持管理方法

① ボランティアの活用

- ・ 柿崎山岳会解散後は、業者委託や有償ボランティアを中心とした実施方法を検討したらどうか。
- ・ 登山者は、山岳会の活動や苦勞を知らず、登山道や山頂のトイレが管理されていることを当たり前のように思っているので、情報発信が必要だと考える。例えば「米山ファンクラブ」のようなものを立ち上げて、登山道等の整備、避難小屋やトイレの清掃活動に参加する意思のある人からクラブに登録してもらい、参加者を募る方法はどうか。
- ・ どのような方法で実施するにしても、中心となる団体が必要である。ただし、柿崎観光協会、柿崎山岳会が、それを担うことはできない。

② 他の山岳会へ作業依頼

- ・ 他の山岳会も柿崎山岳会と同様に高齢化しており、地元の山を管理しているため応援は見込めない。

③ 柿崎山岳会の考え

- ・ 柿崎山岳会の存続はない。
- ・ 山岳会は、新たな団体の立ち上げや施設の維持管理を中心となって動くことはできないが、これまでの実績やノウハウがあるので、アドバイスのことはできる。

④ その他

- ・ 柿崎区地域協議会は、「米山薬師を守る会」「スポ×まちプロジェクト」「ネットワーク柿崎」の3つの委員会を立ち上げて、それぞれのテーマを協議している。しかし、情報発信するにはネットワークづくりが必要なので、今後はバラバラに検討するのではなく、3つの委員会と一緒に検討することも必要である。

以 上

区内のスポーツ施設視察結果

- 1 実施日時：令和6年11月21日（木）午後2時～4時
- 2 視察施設：柿崎総合運動公園、柿崎屋内水泳プール、柿崎第1庭球コート
- 3 参加委員：佐藤昌貴委員長、小関委員、坂木委員、滝澤委員、山川委員、佐藤まゆみ委員
- 4 視察結果：主な感想、意見

<p>(1) 野球場</p> <ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理に費用がかかっている。使用料が格安で、十分な利用者がいても維持管理費用が賄えるのかが疑問・施設規模に対して駐車場が狭い。・設備は整っているので、野球以外のスポーツの利用を検討する価値がある。 → フリーマーケットやキッチンカーなどの会場としても利用できそう。・本部席は老朽化しているが、中学校グラウンドとの2面使用で大会開催等を誘致する。
<p>(2) 人工芝グラウンド</p> <ul style="list-style-type: none">・使用料が格安だと感じた。・サッカー以外のスポーツにも使用できると知った。・人工芝グラウンドの感触がとても良くて、自分も走りたいと感じた。桐生祥秀さんが主催している`Sprint 50 Challenge`のような50m走大会や鬼ごっこ大会などを勝手に空想してしまった。・クラブチームやサッカー競技者が主な使用者だと聞いたので、初心者や未経験者がサッカー選手と交流できるようなイベントの開催を検討する。・野球場を含め、積雪が少ないので豪雪地帯からの冬期間の利用を図る。・野球場、人工芝グラウンドともに観客席があればよいと思った。・サブグラウンドは、アップ等でも使っていないと聞いたので、駐車場や他の利用方法を検討する。
<p>(3) かきざきドーム</p> <ul style="list-style-type: none">・トレーニング施設や館内ジョギングコースなど、充実した施設は上越市内でもトップクラスだと感じた。・多目的フィールドは、雪国に欠かせない施設だと思っている。・プロスポーツを呼ぶには座席が少ないなど、興行には向かない状況を把握できた。・メジャースポーツからマイナースポーツまで対応できる空間を有し、使い方を工夫できれば「スポーツとの出会いの場」にできる可能性を有していると感じた。・子育て世代に月1回程度でもよいので、コミュニティスペースを無料開放してはどうか。特に、冬期間等の外で遊べない時期は、親子に喜ばれると思う。・ボッチャの用具がそろっており、かきざきドームに足を運んでもらう材料になると感じた。

(3) かきざきドーム（前頁の続き）

- ・クライミング、ボルタリングは最近注目されているが、柿崎は早い時期から力を入れてきた。大会となると、高さやスペースが足りないが、初心者向けの体験イベントを開催してみてもどうかと思った。

(4) 柿崎屋内水泳プール

- ・施設がとてもきれいで、こんなに良い施設に生まれ変わったことを知らなかった。多くの人から利用してもらうために、PR方法を工夫することが必要と感じた。
- ・通年使用が難しい施設だと説明を受けて、大変残念に思った。
- ・コース延長が短く、大会に使用することはできないことが分かった。
- ・子どもの水泳教室や大人向けのアクアビクスの教室、小学校の水泳大会などの開催、水泳合宿の活用を考える。

(5) 柿崎第1庭球コート

- ・古くから庭球が盛んで、今日までそれを引き継いできた方々がいることに頭が下がる思いだった。よりよい形で次の世代につなげていかなくてはならないと思った。子どもたちにも「テニスのまち 柿崎」のことを伝え、郷土愛につなげていきたい。
- ・昔から変わらない落ち着いたレトロな佇まいが印象的。ロケーションは良いが、周辺道路が狭くアクセスが悪い。
- ・コート入り口の坂道がきつくて怖かった。
- ・大きな大会の開催は厳しいが、レトロなムードを活かした往年のテニス愛好家を対象に「思い出のテニス大会」の開催はどうかと思った。
- ・施設の維持管理に高額な費用がかかることを知り、維持していくことの難しさが分かった。
- ・風の影響を受けにくく視覚的にも外と遮断されているので、テニスに集中できる空間づくりがされていると感じた。
- ・米山を望むコートは、柿崎区のシンボルとしてふさわしいと感じた。

(6) 全体を通して

- ・どの施設も使用料が安く、維持管理や更新のことを念頭に入れているかどうか疑問に思った。上越市内の統一的な設定もあるが、見直しを検討した方がよいのではと感じた。
- ・機能面の充実ぶりに驚いた。健康維持のために利用したい人から記録を狙いたい上級者までをカバーできそうなので、利用者増のためPR方法を工夫しなければならないと感じた。
- ・さまざまなスポーツを体験できる施設が集約されており、とても良い環境だと思う。
- ・スポーツをする、みる、楽しむなどを体験する企画等を考えて活用を誘致できたらよいと思う。
- ・スポーツ興行に対する規程（座席数やコース延長）に準拠していない施設であることを知った。即座にハード面を改修することは難しいと思うので、各競技のすそを広げる「スポーツとの出会いの場」をテーマにしたイベントを行う施設としてPRをすることもよいのではないかと考えた。

(6) 全体を通して（前頁の続き）

- かきざきドームの周辺で「マルシェ」的なものを行ってはどうか。食とスポーツをうまくマッチングできれば、集客のきっかけになると思う。
- 情報の検索性を高めて利用者を徐々に増やしていければと思う。正直、上越市の施設予約は手段がバラバラで手配しづらい印象がある。
- ドームを軸にしたホスピタリティが低いので、ドームを起点とした食料品の調達や宿の手配がしやすいような情報インフラの整備が必要だと思う。
- かきざきドームの設備は良いけれど周りに何もない。「あそこに行けば何かある」になれたら良いと思う。
- 生活習慣の改善のための環境づくりの意識付けをかきざきドームの施設を利用してできないか。
- それぞれの施設の知名度を上げるための「命名権の販売」はどうか。





令和 6 年 11 月 20 日

上越市議会議長 渡邊 隆 様

上越市文化観光部
(観光振興課)

日帰り・宿泊温泉施設の無償譲渡・無償貸付に係る
公募型プロポーザルの実施結果について

標記の件につきまして、以下のとおりご報告します。

1 対象施設

	施設名	所在地
1	くわどり湯ったり村	上越市大字皆口 601 番地
2	牧湯の里 深山荘	上越市牧区宇津俣 285 番地
3	柿崎マリンホテルハマナス	上越市柿崎区上下浜 262
4	板倉保養センター (ゑしんの里やすらぎ荘)	上越市板倉区久々野 1624 番地 1

2 実施内容

(1) 内容

対象施設について、土地は無償貸付、建物及び工作物等は現状での無償譲渡または無償貸付を前提とした事業提案を募集し、優先交渉先の事業所を選定するもの

(2) 主な日程

時期	内容
9 月 17 日 (火) から 10 月 18 日 (金) まで	受付期間
11 月 1 日 (金)	事業計画書の提出締切
11 月 7 日 (木)	選定委員会の開催

3 結果

(1) 優先交渉先の選定結果

- | | |
|----------------|-----------------------|
| ① くわどり湯ったり村 | 株式会社ゆめ企画名立 (応募件数 1 件) |
| ② 牧湯の里 深山荘 | 応募者なし |
| ③ 柿崎マリンホテルハマナス | 選定事業者なし (応募件数 2 件) |
| ④ 板倉保養センター | 応募者なし |

(2) 公表

11 月 21 日 (木) に、市ホームページにて公表します。

4 今後の予定

- くわどり湯ったり村については、優先交渉先と令和 7 年 4 月からの貸付に向けた交渉を行う。
- 貸付について合意に至った際には、令和 7 年 3 月議会において、関連条例の改正等の議案を上程する予定
- 上記に向けて、12 月中に谷浜・桑取地域協議会で説明し、令和 7 年 1 月に諮問・答申を見込んでいる。